

8/18
(水)

日本郵便と包括的連携協定 より一層の連携を図る



調印した川床郵便局赤寄弘則局長(写真右)と川添町長

8月18日、町と日本郵便株式会社はそれぞれの人的・物的資源を有効活用して、地域住民へのサービス向上を図るための包括的連携に関する協定を結びました。

協定には、安心・安全な暮らしの実現、地域経済活性化、未来を担う子どもの育成、女性の活躍推進、地方創生を効果的に実施することが盛り込まれています。地域の見守りや犯罪防止、長島町広報活動への連携が期待されます。

鷹巣郵便局高岡直久局長は「今回の協定締結を契機に町制施行15周年を迎えた長島町とこれまで以上に連携を深め、地域発展に努めていきたい」とあいさつしました。

8/23
(月)

町内各蔵元でイモ切りが始まる こだわり抜いて幾年

地元の芋焼酎「さつま島美人」に使用される原料イモのイモ切りが、8月23日から町内5つの蔵元それぞれで始まりました。

伝統のイモ切りは、歴史が一番古い蔵元で、明治6年から続いています。杉本酒造(蔵之元)では、大正5年の創業当初からイモ切りが行われ、早朝から休憩を挟まずに従業員らが精を出しています。

作業を行う工場内では、洗浄された原料イモのこがねせんがん黄金千貫がベルトコンベアに流れてくると、従業員らが包丁を片手に熟練の目で選別しながら、傷んだ部分やヘタを切り落としていました。

杉本酒造の四代目、杉本真輝さん(指江)は「芋焼酎の原料イモは保存が効かず、手間もかかる。だからこそ、こだわり抜いて少しでもいいものを飲んでいただきたい」と話しました。



選別された原料イモ

イモ切り作業を行う従業員ら